

科目区分	専門教育科目	科目名	児童家庭福祉		科目コード	20Y570	担当者	長尾 久美子			
対象学生	幼児教育学科 1年生		学期区分	前期	単位数	2	担当形態	単独			
			授業区分	講義							
科目			施行規則に定める科目区分又は事項等			卒業要件	選択				
						免許・資格要件	保育士必修				
科目の主題						学修成果との関連 (大◎、中○、小△)					
児童福祉法制度や児童福祉の歴史、保育士資格の内容など、児童福祉の専門職として必要な基本的な知識や倫理などを修得する。 保育士資格の根拠法である児童福祉法の理念を理解し、実践につなげることができる。						1. 「良心」 誠実な人柄と 人間力		2. 「創造」 高度な知性と 創造力		3. 「実践」 明確な意思と 実践力	
科目の到達目標						① 誠 実 性 ・ 真 摯 性	② 多 様 性 ・ 協 働 性	③ 知 識 ・ 技 能	④ 表 現 考 力 ・ 創 造 断 力 力	⑤ 実 主 行 体 性 ・ 自 立 性	⑥ 就 業 力 ・ 貢 献 力
1.	児童福祉の目的や歴史を理解する。										
2.	児童福祉法及び関連法制度を理解する。										
3.	児童福祉の専門職としての保育士の役割を理解する。										
4.						○		◎	◎	○	
5.						成績評価の方法と割合					
授業方法						定期試験 (70%) 提出物 (10%) 受講態度 (20%)					
講義を基本とするが、保育に携わる者として、児童福祉に関する知識を有することの意義について理解できるよう、当該テーマに関連する視聴覚教材や関連資料なども適宜使用する。											
課題等への対応						授業外学修時間					
提出物は内容確認のうえ授業時に全体紹介という形でフィードバックする。多様な意見に触れる機会を持つことで、それぞれの認識の相違に対する関心・理解の深まりを促す。						予習・復習の時間として、一回の授業につき60分程度は確保してほしい。					
回数	授業計画					学習課題 (予習・復習)					
第1回	保育と児童家庭福祉 (児童家庭福祉の視点)					教科書・レジュメを参考に、児童家庭福祉の視点について予復習を行う					
第2回	児童と家庭を取り巻く現状					教科書・レジュメを参考に、児童と家庭をめぐる現状について予復習を行う					
第3回	子どもの権利					教科書・レジュメを参考に、子どもの権利について予復習を行う					
第4回	児童家庭福祉の歴史					教科書・レジュメを参考に、児童家庭福祉の歴史について予復習を行う					
第5回	児童家庭福祉の制度と法体系 (児童福祉法)					教科書・レジュメを参考に、児童家庭福祉の制度と法について予復習を行う					
第6回	児童家庭福祉に関係する法律					教科書・レジュメを参考に、児童家庭福祉関係の法律について予復習を行う					
第7回	児童家庭福祉の取り組み (子育て支援サービスと児童の健全育成)					教科書・レジュメを参考に、子育て支援サービス等について予復習を行う					
第8回	児童家庭福祉の取り組み (母子保健サービス)					教科書・レジュメを参考に、母子保健サービス等について予復習を行う					
第9回	児童家庭福祉の取り組み (保育サービス)					教科書・レジュメを参考に、保育サービス等について予復習を行う					
第10回	児童家庭福祉の取り組み (児童虐待とDV)					教科書・レジュメを参考に、児童虐待とDVについて予復習を行う					
第11回	児童家庭福祉の取り組み (社会的養護)					教科書・レジュメを参考に、社会的養護について予復習を行う					
第12回	児童家庭福祉の取り組み (ひとり親家庭への福祉)					教科書・レジュメを参考に、ひとり親家庭への福祉について予復習を行う					
第13回	児童家庭福祉の取り組み (障がいのある子どもの福祉)					教科書・レジュメを参考に、障がいのある子への福祉について予復習を行う					
第14回	児童家庭福祉の取り組み (情緒障がい・少年非行問題)					教科書・レジュメを参考に、情緒障害・少年非行等について予復習を行う					
第15回	児童家庭福祉の専門職と連携					教科書・レジュメを参考に、児童家庭福祉の専門職等について予復習を行う					
試験	定期試験を実施する										
教科書	教科書 「保育と児童家庭福祉」 編集；櫻井奈津子 出版；(株)みらい				受講生へのメッセージ	保育士は児童福祉の専門職です。一人一人の子どもの幸せを守ることに、一緒に考えましょう。					
参考書等	なし										